

はしもととしょかん こどもしんぶん 第242号

ほんのもり

2026年冬号

今年は
うまどし！

えほん E/バ

『はたらくうまのハンパートとロンドン市長さんはなし』
ジョン・バーニンガム／さく 神宮輝夫／やく 童話館出版



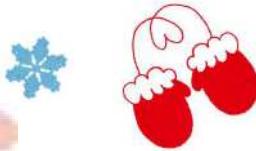
ハンパートはくすてつあつめのファーキンさんの荷車を引く馬でした。いつもみじめな気持ちでいるハンパートでしたが、ある日、新しいロンドン市長をお祝いする行列で、市長の馬車の車輪がこわれてしまった時に、ハンパートは大かつやくします。

発行：相模原市立橋本図書館
TEL: 042-770-6600
FAX: 042-770-6601
2026年1月発行

SDGs
未来都市
さがみはら



「ほんのもり」は、子どもと本をつなぐことを目的とした
橋本図書館が発行することも向けしんぶんです。



あたら はい ほん 新しく入った本のしょうかい



小学校中學年～



えほん オレE／空『バルレッタのふしぎな大おとこ』
トミー・デ・パオラ／再話・絵 福本友美子／訳
光村教育図書

イタリアのバルレッタという町の教会の前に、とても大きなわかものの像がたっていました。町の人たちはその大おとこの像が大好きでした。大おとこが町を救ったと言われているからです。さあ、どうやつて救ったのでしょうか？



えほん E/Z『ラクダで塩をはこぶ道』
エリザベス・ズーノン／作 千葉茂樹／訳 あすなろ書房

アフリカのマリ共和国のタウデニでは、多くの塩が採れます。10数頭のラクダに塩をのせ、750キロ離れたトンブクトゥという町まで運びます。塩は人間にはかかせない貴重なものです。少年は初めて参加する危険な旅の中で、塩の大切さを知ります。

よみもの J933／ムーア『マイヤーさんと大きくなりすぎた犬』
リリアン・ムーア／作 レオナーネ・アデルソン／作
Keisaito／絵 小宮由／訳 さ・え・ら書房
小学校中學年～

マイヤーさんは、のら犬や家で飼えなくなった犬を黒いトラックにのせて、どこかへつれて行ってしまいます。その後、犬たちがどうなるのか町の人たちは誰も知りません。ところが、ノディンさん家のやっかいな犬バターボールのおかげで、マイヤーさんのひみつのなぞがかかるのです。



よみもの J913／よしの『白い虹を投げる』
吉野万里子／作 黒須高嶺／絵 Gakken
小学校高學年～

ヤヤと葉央は同じ野球チームの仲間でしたが、6年生になると、ヤヤは家の都合で引越してしまいます。別々のチームでプレイすることになった二人は、メールでお互いのチームや家族の悩みについてはげましあい、友情を深めていきます。野球をやったことが無くても楽しく読める物語です。



しらべるほん J43『水のかたち』
増村征夫／文・写真 福音館書店
小学校中學年～



水は、雨になったり、雲になって空に浮かんだりします。寒くなると、氷や霜柱、雪にもかたちをかえます。雪の結晶をよく見ると、ひとつひとつがちがいます。季節によってかわる、水のかたちを紹介した写真絵本です。

しらべるほん J64『みんなで見守る地域猫』
高橋うらら／文 金の星社
小学校高學年～



その地域に住んでいる人がごはんをあげたりトイレを作って掃除をしたり、子猫を生みすぎないように病院に連れて行ったりして、お世話をしているノラ猫のことを「地域猫」といいます。猫と人が仲良く暮らせるように、猫の保護活動を広めた神奈川県の獣医師、黒澤さんの仕事を紹介しています。

ほかにも馬のほん！



キバラカと魔法の馬

アフリカの伝説

さくまゆみこ著

岩波書店

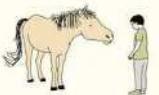


よみもの **J908／むかし話『キバラカと魔法の馬』**
さくまゆみこ／編訳 岩波書店

アフリカ大陸各地に伝わる民話の中から、ふしぎな
魔法や精霊が出てくる13のおはなしを集めた民話集
です。

ウマと
話すための
7つのひみつ

河田桜



しらべるほん **J64『ウマと話すための7つのひみつ』**
河田桜／文と絵 偕成社

馬と話せたら楽しいでしょうね。馬は耳や鼻、脚、
しっぽを使って“馬語”を話しているんだって！
“馬語”にはどんなひみつがあるのかな？



～イベントのお知らせ～

たの

むかしあそびを楽しもう！



ひにち：令和8年1月10日(土)

ば 場所：橋本図書館 こどものほんのコーナー



●さがみはら郷土かるた大会

1回目：午後2時から／2回目：午後2時30分から

対象：幼児から小学生まで 定員：各回5組(先着順)

●ふくわらい／あやとり／はなごまなど

くわしくは館内ポスター・チラシ
などをご覧ください。

